

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 公益財団法人とよなか国際交流協会

1. 事業名称

外国人の若者の生活力・表現力アップ日本語事業～ユース・多文化エンパワメントプロジェクト～

2. 事業の目的 定住外国人・国際結婚の増加によって、外国にルーツをもつ子ども・若者の数も確実に増加している。これに伴い外国にルーツをもつ子ども・若者への日本語教育はこれまで以上にニーズを増している。とよなか国際交流協会(以下、協会)では近年、日本語活動や子どもを対象とする事業を通じて、地域のなかでこうした子ども・若者が増えていることを実感しており、既存の事業における子どもや若者への支援の配慮や、市民グループ・市教育委員会との協働による学習のための日本語指導の実践などを行ってきた。しかし、子どもの成長や親の呼び寄せで学齢期を超えて来日する10代後半以上の若者の増加によって、既存事業の枠内での対応も難しくなっているのが現状である。

一方社会の現状に目を向けると、若者の高い失業率・非正規雇用率やひきこもり・ニートの増加など若者の置かれる環境は日本全体でも厳しい状況にある。この現状は政府によっても危機感をもって受け止められ、子ども・若者育成支援推進法などを受けた大綱も示されているが、この中で外国人の若者の困難は就労問題として取り上げられているのみで、彼らの就労の前段階に置かれるはずの日本語や社会参画の困難性は語られていない。

本事業では、「子ども」から「大人」への移行期にあつて、まさに地域社会を支える成員となる過程にある外国にルーツを持つ若者に対し、日本語教育事業を中心に若者の社会参画を促すことを目的とする。また、若者への支援のしくみづくりを通じて関係諸機関との連携を行い、地域における支援体制の構築を目指す。

3. 事業内容の概要 本事業では二つの取組を実施した。

一つ目の取組は、若者の生活や人生設計において必要であると思われる日本語教育を地域の関係機関と連携しながら進めていく「ユース☆ライフプランニング 日本語講座」である。この取組では、外国人の若者の社会参画において必要であると思われる三つの分野(①日本語リテラシー、②保健医療と生活、③地域と仕事)に関して各分野で活躍する地域の専門家を講師に迎え、その分野の日本語の知識を身に付けることを目指すものであった。

二つ目の取組は、「ユース☆対話・メディア表現 日本語講座」である。ここでは、若者たちが自らのロールモデルとなる若者や仲間(ピア)と共に、彼らとの「対話」や自己「表現」に関するワークショップや講座を受講する。これらの講座での対話・表現方法や、取組1におけるライフプランニング日本語講座において獲得した地域とのネットワークをもとに、地域に向けたメディア作品の「製作」を行った。

二つの取組はそれぞれにおいて個別のテーマを持ちながら総合的に関連し合い、最終的には外国につながる若者支援のために各機関が連携し合いながらゆるやかにつながり合う、地域ネットワークの構築を目指すものであり、事業実施期間中は、それぞれの取組の有機的なつながりも意識しながら活動を行った。

なお、当初の予定で計画していた「取組3 にほんごdeユース☆フェスタ」については、一過性のイベントを企画運営・参加するのではなく、日常的に行われる取組の中で日本語の力や生活力を身に付けていく形をとる方が参加者にとって有意義であると思われたため、実施しなかった。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年6月26日 15:00～17:00	2時間	豊中市役所 人権文化部 応接室	榎谷光義、亀谷智、金生遵、弘中伸明、榎井縁、今井貴代子、金相文、大庭みゆき、山本房代	事業の内容説明・若者の実態と事業の展開・意見交換・今後の方向性	事業目的、内容、今後の方針について
2	平成25年11月18日 15:30～17:00	1時間半	豊中市役所 人権文化部 応接室	榎谷光義、亀谷智、金生遵、米澤貴雄(代理)、榎井縁、今井貴代子、金相文、大庭みゆき、山本房代	第一回運営委員会議振り返り・中間活動報告・今後に向けての現状と課題	事業内容について、機関連携について
3	平成26年3月17日 15:00～16:30	1時間半	とよなか国際交流センター	亀谷智、金生遵、弘中伸明、榎井縁、大庭みゆき、山本房代	第二回運営委員会議振り返り・2013年度活動報告・今後に向けての現状と課題	年度評価、今後の課題について

5. 取組についての報告

○取組1: ユース☆ライフプランニング日本語講座～外国にルーツを持つ若者応援プロジェクト“よっぷろ”～

(1) 体制整備に向けた取組の目標

若者たちが日本で希望をもって生活設計を行っていくうえで必要なテーマを設定し、そのテーマに基づく必要な日本語の習得と同世代の若者同士とのワークショップやロールモデルとなる人たちからの講演や交流を通じて、自分自身のライフプランニングを行うことを目的とする。同時に、外国人や若者の抱える困難や課題、また若者の視点に立ったときに必要な情報や資源は、行政セクターの分野を超えて取り組み提供される必要があるため、各関係機関とのゆるやかなネットワーク化を進めていく。

(2) 取組内容

日本社会で生きていく外国人にとって、未来をプランニングするための日本語は不可欠である。特に、10代後半～30代の若者においては、自立した個人として社会に出ていく前段階にあって、人生設計に必要な選択を行う際に語学面や文化の違いなどから困難に直面する可能性や必要な情報や支援を入手するネットワークから疎外されている可能性が高い。

本取組では、各専門分野の専門家や関係機関と連携しながら、生活設計や社会生活を送るうえでの基礎となる知識を外国にルーツのある若者の興味関心に沿ったテーマに即して学ぶ日本語講座を開催した。

①「～生活まるごと～よみかき日本語講座」(31回)

対象:外国にルーツをもつ若者

内容:

若者にとって親しみのあるテーマに沿って、将来自立した生活を送るために必要な情報読解力や文章表現力などを身につけるための日本語講座を行う。また、ことわざ、若者言葉、方言など、日常生活でふれることは多いが体系的に学ぶ機会の少ない日本語についても、言葉のしくみを知り自分自身で使えるようになる。

講座の内容は、ひらがな・カタカナ表現／漢字を書いてみよう／敬語表現を知ろう／年賀状をつくろう など

②「～からだところの～フリーダム日本語講座」(37回)

対象:外国にルーツをもつ若者

内容:

性に関する情報や知識、交際、子育て、芸術・スポーツに関する日本語講座を行う。多感な時期であり社会に出て行く過程にある若者が、興味関心にあった日本語を学びながら、地域社会とつながるきっかけをつくる。

メンタルヘルスや女性団体の代表、病院の医師・看護師、保健師、芸術家、スポーツインストラクターなど、専門家や関係機関、行政関係部署から講師を呼ぶ。また、地域に住む国際結婚夫婦、協会で実施する親子参加型日本語活動ボランティアなどがアドバイザーとなる。さらに、ピア(同じ仲間)でありロールモデル(目標となる人)となる外国にルーツをもつ若者にゲストやアドバイザーとして参加してもらうことで、進路や生活に関する悩み・疑問が共有されやすい場づくりを目指す。

講座の内容は、「ピアサポーター・ボランティアの役割って…?ざっくばらんに語ろう会」／多文化お料理講座／多文化ダンス教室／わかもの「たまりば」 など

③「まちを知る!しごとを知る!しゃかいを知る!日本語講座」(3回)

対象:外国にルーツを持つ若者

内容:

地域で若者支援・就労支援を行っている団体、地域に根差した企業、行政関係部署などから、若者が活用できる「まち」の資源(公共施設や交通機関、病院等)、「しごと」へのアプローチ(会社や工場等)などを日本語学習を通じて学んだ。

さらに、日本社会や日本のマナー、将来についての夢や仕事についてを語り合うことで、日本社会で生きていくことの展望を持てるような機会を設けた。

講座の内容は、「農家の仕事をしよう」／「若者の居場所」について考える／おしごとカフェ

*取組の副題である「“よっ”ぷろ」は、本取組における四つの軸を表している。①「よっ!」と気軽に参加できること、②学校、家、仕事場にはない「よっつめ」の居場所であること、③人的・物的な社会資源を「よびよせる」こと、そして④次のステップを「よっ」と踏み出すこと、の四つである。これらの軸はそれぞれ、①講座への参加、②継続的な関わり、③社会とのつながり、④社会参画のプロセスをあらわしている。

(3) 対象者 外国にルーツを持つ若者

(4) 参加者の総数 115 人

(出身・国籍別内訳) ネパール(7)、インド(1)、ブラジル(6)、中国(18)、韓国・朝鮮(18)、フランス(2)、フィリピン(16)、インドネシア(2)、カンボジア(1)、アメリカ(5)、ベトナム(4)、スリランカ(1)、台湾(1)、ペルー(2)、タイ(5)、イギリス(1)、イタリア(1)、日本(23)、コロンビア(1)

(5) 開催時間数(回数) 152 時間 (全 72回)

(6) 取組の具体的内容 ①～生活まるごと～よみかき日本語講座

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年6月29日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	ひらがなカードの作成、カードを使ったひらがなの覚え方	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
2	平成25年7月6日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	数字のたずね方「何番ですか。」「いくらですか。」数字の聞き取り、電話番号・金額の聞き取り	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
3	平成25年7月13日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	相槌の打ち方や返事の仕方 形容詞文型、形容詞+形容詞、動詞語彙	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
4	平成25年7月20日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	買い物の仕方 あります、います。位置関係の言葉	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
5	平成25年7月27日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	災害時の避難場所 位置関係の言葉と場所の言葉	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
6	平成25年8月3日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	動詞文型と助詞「～を～します。」「で」「に」の使い分け	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
7	平成25年8月10日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	カタカナの書き方、覚え方 生活の中のカタカナ・外来語の特徴	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
8	平成25年8月17日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	動詞の諸相	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
9	平成25年8月24日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	動詞文	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
10	平成25年8月31日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	頼み方-「すみませんが、～してください。」動詞のテ形	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
11	平成25年9月7日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	毛筆で学ぶ漢字の特徴 漢字の筆順・画	田中薫、坂本清美、末永晶子	-
12	平成25年9月14日 11:00～13:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	約束と予定表 カレンダーの読み方・過去から未来への言葉の表現	田中薫、坂本清美、末永晶子	-

13	平成25年9月28日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	3人	ネパール(2人)、インド(1人)	日本語	5W1Hを備えた文の表現(いつ・どこ・誰・何をどうする)	田中薫、坂本清美、末永晶子	-
14	平成25年10月12日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	用言全般の復習、主語・述語探し、辞書の引き方	田中薫、坂本清美、末永晶子	-
15	平成25年10月19日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	病院での表現 体の部位の言葉	田中薫、末永晶子	-
16	平成25年11月2日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	3人	ネパール(2人)、インド(1人)	日本語	困ったことを訴える 状態と、原因や理由を話す	田中薫、末永晶子	-
17	平成25年11月9日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	自分の考えを話す。 ～と思ひ増す。～と考えます。	田中薫、坂本清美、末永晶子	-
18	平成25年11月16日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	漢字トランプボーカ遊び 漢字の音読み・熟語に親しむ	田中薫、坂本清美、末永晶子	-
19	平成25年11月30日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	順を追って話す 作業と表現	田中薫、坂本清美、末永晶子	-
20	平成25年12月14日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	3人	ネパール(2人)、インド(1人)	日本語	感謝・お詫びの気持ちの伝え方 授受	田中薫、末永晶子、中田陽子	-
21	平成25年12月21日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(3人)、インド(1人)	日本語	相手の立場で考える 受身・使役	田中薫、坂本清美、末永晶子	-
22	平成26年1月11日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(3人)、ブラジル(1人)、中国(1人)	日本語	年賀状づくり・日本の行事 その①	田中薫、坂本清美、中田陽子	-
23	平成26年1月11日 16:00～18:00	2	時間	とよなか国際交流センター	3人	ネパール(2人)、インド(1人)	日本語	年賀状づくり・日本の行事 その②	中田陽子	-
24	平成26年1月18日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(3人)、ブラジル(1人)、中国(1人)	日本語	何をするとどうなる 自動詞と他動詞の使い分けによる言い方	田中薫、末永晶子、中田陽子	-
25	平成26年1月25日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(3人)、ブラジル(1人)、中国(1人)	日本語	気持ちの表現と擬態語	田中薫、坂本清美、末永晶子、中田陽子	-
26	平成26年2月1日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(2人)、ブラジル(1人)、中国(1人)、フランス(1人)	日本語	作文(自己PR文)の書き方	田中薫、坂本清美、中田陽子、小島良平、末永晶子	-
27	平成26年2月8日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(2人)、ブラジル(1人)、中国(1人)、フランス(1人)	日本語	面接試験の受け答え	田中薫、坂本清美、中田陽子、小島良平、末永晶子	-
28	平成26年2月15日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	ネパール(2人)、ブラジル(1人)、フランス(1人)	日本語	修飾用法の入った長文構造	田中薫、児島良平、中田陽子	-
29	平成26年2月22日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(2人)、ブラジル(1人)、中国(1人)、フランス(1人)	日本語	接続語を使った日本語文の構造	田中薫、坂本清美、中田陽子、小島良平、末永晶子	-
30	平成26年3月1日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(2人)、ブラジル(1人)、中国(1人)、フランス(1人)	日本語	要点を捕らえて聞く。自分の言葉で話す。	田中薫、坂本清美、中田陽子、小島良平、末永晶子	-
31	平成25年3月8日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(2人)、ブラジル(1人)、中国(1人)、フランス(1人)	日本語	敬語(尊敬語・謙譲語)のつかい方	田中薫、坂本清美、中田陽子、小島良平、末永晶子	-
32	平成25年3月15日 11:00～13:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	ネパール(2人)、ブラジル(1人)、中国(1人)、フランス(1人)	日本語	敬語を使った電話のかけ方	田中薫、坂本清美、中田陽子、末永晶子	-

②～からだところの～フリーダム日本語講座

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名	
1	平成25年8月25日 10:00～13:00	3	時間	とよなか国際交流センター	15人	インドネシア(1)、カンボジア(1)、アメリカ(1)、ブラジル(1)、中国(1)、ベトナム(1)、韓国・朝鮮(3)、スリランカ(1)、日本(5)	「ピアサポーター・ボランティアの役割って…?ざっくばらんに語ろう会」	横浜で活動をする外国人当事者団体“すたんどばいみー”のメンバーと、その活動を長く見守っている中学校校長の柿本先生を囲んでの座談会	柿本隆夫、チューブサラーン、劉麗鳳	黒島トーマス友基
2	平成25年8月31日 14:00～17:00	3	時間	とよなか国際交流センター	16人	台湾(1)、ブラジル(1)、中国(1)、韓国・朝鮮(3)、ペルー(1)、日本(2)、ネパール(2)、フィリピン(3)、ブラジル(1)、フランス(1)	サンブレイス・トワイライト 卒業生・ボランティア同窓会	協会事業の柱の一つで外国にルーツをもつ子どもの居場所として継続しているサンブレイス・トワイライトの同窓会	山本房代	-
3-1	平成25年11月30日 11:00～15:00	4	時間	とよなか国際交流センター	3人	フィリピン(2人)、韓国・朝鮮(1人)	多文化お料理講座	多文化お料理講座のトライアル講座(フィリピンのデザートづくり)	平松亜希子	-
3-2	平成25年12月8日 9:00～12:00	3	時間	とよなか国際交流センター	5人	フィリピン(2人)、韓国・朝鮮(3人)	多文化お料理講座	買い物にいろいろ、料理の基礎をしよう①(※多文化フェスティバル(市教委、外国人教育研究協議会などと共催)とコラボレーション)	平松亜希子	上田真、平松実佳子、佐々木祥子
3-3	平成25年12月8日 13:00～16:00	3	時間	とよなか国際交流センター	5人	韓国・朝鮮(2人)、ペルー(1人)、中国(2人)	多文化お料理講座	料理の基礎をしよう②、フィリピンのアドボケートづくり、試食(※多文化フェスティバル(市教委、外国人教育研究協議会などと共催)とコラボレーション)	平松亜希子	上田真、平松実佳子、佐々木祥子
4	平成26年1月31日 13:00～16:00	3	時間	とよなか国際交流センター	40人	フィリピン(10人)、韓国・朝鮮(9人)、ベトナム(3人)、中国(7人)、タイ(5人)、インドネシア(1人)、ペルー(1人)、ブラジル(2人)、日本(2人)	「しっておきたい!健康と心とダイエット&無料相談会」	健康とダイエットについての基礎知識と健康相談会	中萩エルザ	-
5-1	平成26年1月26日 15:00～17:00	2	時間	とよなか国際交流センター	17人	韓国・朝鮮(4)、フランス(1)、フィリピン(2)、タイ(1)、スリランカ(1)、アメリカ(2)、中国(3)、日本(3)	「サムルノリを体験しよう」	サムルノリの各楽器を役割分担し演奏体験する	安聖民	-
5-2	平成26年2月9日 15:00～17:00	2	時間	とよなか国際交流センター	17人	韓国・朝鮮(4)、フランス(1)、フィリピン(2)、タイ(1)、スリランカ(1)、アメリカ(2)、中国(3)、日本(3)	「サムルノリを体験しよう」	役割分担した楽器を練習し、周囲と合わせながら、一つの曲をつくりあげる	安聖民	-
5-3	平成26年2月16日 15:00～17:00	2	時間	とよなか国際交流センター	17人	韓国・朝鮮(4)、フランス(1)、フィリピン(2)、タイ(1)、スリランカ(1)、アメリカ(2)、中国(3)、日本(3)	「サムルノリを体験しよう」	発表に向けての練習とリハーサル	安聖民	-

6-1	平成25年12月21日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	フィリピン(2人)、韓国・朝鮮(3人)	多文化ダンス教室	ダンス教室トライアル講座①(ダンスに触れてみよう、好きな歌で踊ってみよう)	M.Y	-
6-2	平成25年12月21日 16:00～18:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	フィリピン(2人)、韓国・朝鮮(1人)、スリランカ(1人)	多文化ダンス教室	ダンス教室トライアル講座②(ダンスに触れてみよう、好きな歌で踊ってみよう)	M.Y	-
6-3	平成26年1月16日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	7人	フィリピン(2人)、ペルー(1人)韓国・朝鮮(2人)、アメリカ(1人)、日本(1)	多文化ダンス教室	ダンスで自己紹介、私の好きなダンス	M.Y	秋田光軌
6-4	平成26年1月19日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	10人	フィリピン(2人)、イギリス(1人)、韓国・朝鮮(2人)、中国(2人)、アメリカ(2人)、日本(1)	多文化ダンス教室	ダンスの基礎① ストレッチと体操	M.Y	金和永
6-5	平成26年1月23日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	7人	フィリピン(2)、韓国・朝鮮(2)、中国(1)、アメリカ(1)、日本(1)	多文化ダンス教室	ダンスの基礎② ストレッチとステップ	M.Y	秋田光軌
6-6	平成26年1月26日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	9人	フィリピン(2)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(1)、中国(3)、アメリカ(1)、日本(1)	多文化ダンス教室	ダンスの基礎③ ストレッチとステップ	M.Y	-
6-7	平成26年1月30日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	11人	フィリピン(2)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(3)、中国(3)、アメリカ(1)、日本(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、曲に合わせてステップ練習①	M.Y	秋田光軌、金和永
6-8	平成26年2月6日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(2)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(2)、中国(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、曲に合わせてステップ練習②	M.Y	秋田光軌、
6-9	平成26年2月13日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	5人	フィリピン(1)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(2)、中国(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、曲に合わせてステップ練習③	M.Y	秋田光軌
6-10	平成26年2月16日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	16人	フィリピン(3)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(4)、中国(3)、アメリカ(1)、日本(4)	多文化ダンス教室	ストレッチ、発表会に向けた曲練習①	M.Y	金和永、石原翔香、今西ひかる、秋田光軌
6-11	平成26年2月20日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	9人	フィリピン(2)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(1)、中国(3)、アメリカ(1)、日本(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、発表会に向けた曲練習②	M.Y	秋田光軌
6-12	平成26年2月23日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	11人	フィリピン(4)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(2)、中国(2)、アメリカ(1)、コロンビア(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、発表会に向けた曲練習③	M.Y	石原翔香、今西ひかる
6-13	平成26年2月27日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(1)、中国(1)、アメリカ(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、発表会に向けた曲練習④	M.Y	-
6-14	平成26年3月2日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	20人	フィリピン(6人)、イギリス(1人)、韓国・朝鮮(2人)、中国(5人)、アメリカ(2人)、スリランカ(1人)、日本(3人)	多文化ダンス教室	ストレッチ、発表会に向けた曲練習⑤	M.Y	石原翔香、下田茂雄
6-15	平成26年3月6日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	13人	フィリピン(4人)、イギリス(1人)、韓国・朝鮮(3人)、中国(3人)、アメリカ(1)、日本(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、発表会直前練習①	M.Y	金和永、今西ひかる
6-16	平成26年3月9日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	14人	フィリピン(5)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(2)、中国(4)、アメリカ(1)、日本(1)	多文化ダンス教室	ストレッチ、発表会直前練習②	M.Y	石原翔香、下田茂雄
6-17	平成26年3月13日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	16人	フィリピン(5)、イギリス(1)、韓国・朝鮮(2)、中国(5)、アメリカ(1)、日本(2)	多文化ダンス教室	ストレッチ、新しいステップを習おう、曲に合わせてみよう①	M.Y	小野遼太郎、秋田光軌、下田茂雄、金和永、今西ひかる
6-18	平成26年3月16日 10:00～12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	9人	フィリピン(3)、韓国・朝鮮(2)、中国(1)、アメリカ(1)、日本(2)	多文化ダンス教室	ストレッチ、新しいステップを習おう、曲に合わせてみよう②	M.Y	石原翔香、秋田光軌、金和永、下田茂雄
7-1	平成26年1月16日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	フィリピン(1人)、韓国・朝鮮(2人)、ネパール(1人)	たまりば(外国にルーツをもつ若者やボランティアが集まり、語り、食事をしながら、落ち着ける居場所をつくる。)	カレーづくり、車の免許について	山本房代	-
7-2	平成26年1月23日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	4人	フィリピン(1人)、韓国・朝鮮(1人)、ペルー(1人)、アメリカ(1人)	たまりば	カレーづくり、将来の夢	山本房代	-
7-3	平成26年1月30日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	7人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(3)、ネパール(1)、ペルー(1)、イタリア(1)	たまりば	カレーづくり、アルバイトについて	山本房代	-
7-4	平成26年2月6日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	8人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(2)、ネパール(1)、アメリカ(1)、イタリア(1)、日本(2)	たまりば	カレーづくり、日本の文学について	山本房代	-
7-5	平成26年2月13日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	9人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(3)、ネパール(1)、ペルー(1)、アメリカ(1)、イタリア(1)、日本(1)	たまりば	カレーづくり、日本語学習	山本房代	-
7-6	平成26年2月20日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	10人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(4)、ペルー(1)、アメリカ(1)、イタリア(1)、中国(2)	たまりば	カレーづくり、日本語学習	山本房代	-
7-7	平成26年2月27日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	9人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(2)、ネパール(1)、ペルー(1)、イタリア(1)、中国(1)、日本(2)	たまりば	カレーづくり、日本語学習	山本房代	-
7-8	平成26年3月6日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	14人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(5)、ネパール(1)、イタリア(1)、中国(2)、日本(4)	たまりば	カレーづくり、日本語学習	山本房代	-
7-9	平成26年3月13日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	13人	フィリピン(1)、韓国・朝鮮(4)、アメリカ(1)、スリランカ(1)、イタリア(1)、日本(5)	たまりば	カレーづくり、日本での結婚生活と家庭について	山本房代	-
7-10	平成26年3月20日 18:00～20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	19人	韓国・朝鮮(5人)、フィリピン(1人)、スリランカ(1人)、フランス(1人)、ブラジル(1人)、日本(10人)	たまりば	新聞記者、カメラマン、行政関係者など日本人の大人から仕事や将来についての話を聴く語りの場、カレーづくり	山本房代	-

③まちを知る！しごとを知る！しゃかいをしる！日本語講座

	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年10月5日 15:00～18:00	3 時間	とよなか国際交流センター	8人	ネパール2人、韓国朝鮮3人、フィリピン2人、日本1人	農家の仕事をしよう	福島県の果物農家の方をお招きし、農家の仕事とは、働くとは…、を自由な雰囲気の中語り合った	村山英司、村山桃子、金子安美	-
2	平成25年2月13日 17:00～19:00	2 時間	とよなか国際交流センター	6人	韓国朝鮮(3人)、イタリア(1人)、フィリピン(2人)	“若者の居場所”について考える	“若者居場所工房・ぐーてん”の取り組み内容・居場所作りの問題点・課題・展望等を意見交換した	柴垣恭子	-
3	平成25年3月1日 15:00～17:00	2 時間	とよなか国際交流センター	4人	韓国朝鮮(2人)、ネパール(2人)	おしごとカフェ	仕事とは、将来とは、夢とは…を、堅苦しくない場で語り合う	岩田ユミ	-

(7) 参加者の募集方法

豊中市広報誌『広報とよなか』、チラシ、協会ホームページ、Facebookページ

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

①「～生活まるごと～よみかき日本語講座」では、10代の若者への日本語指導に長年従事してきた講師を中心に、毎回指導案を練りながら、生活につながる日本語の習得に努めた。日本語を「読む」「書く」ことを中心に、参加者が継続的に関わることで体系的な日本語の習得を目指した。母国の義務教育課程を卒業してから来日した若者への日本語指導が中心であったが、中には日本への滞在歴が2～3年あるが基礎的な文法が苦手な若者もあり、様々な背景をもつ若者が参加した。

②「～からだところの～フリーダム日本語講座」では、若者の「ころ」と「からだ」をキーワードに、若者の興味関心をひきつけるような講座を定期・不定期に開催してきた。講師には、若者世代の当事者を多く招き、参加者の視点に立った講座づくりを心掛けた。

定期開催した「多文化ダンス教室」では、外国にルーツを持つ講師と共に真剣にダンスを学ぶ若者のすがたが印象的であった。講師は参加者にとって、ロールモデルやピア(仲間)の役割を果たしていた。また、日々の生活で行き詰まりを感じることもあっても、ダンスの練習に参加することによって表情が明るくなり、自分の居場所として教室をとらえている若者がいた。さらに、この教室ではルーツをもつ若者の子どもや「ポスト若者」世代の子ども達の参加も受け入れており、若者が多様な年齢の子どもたちと共にダンスを練習することで責任感を持ったり講師に代わってリーダーシップを発揮したりする場面も見られた。

また同じく定期開催している若者の「たまりば」は、平日の夜の時間帯に若者たちが主体となり、自分たちのやりたいことに挑戦したり、のんびりしたりすることが出来る場として、試験的に開催してきた。毎回「カレー」を中心とした簡単な料理を参加者とつくり、共に食卓を囲むことで参加者同士が自然に話をしやすい環境づくりを意識した。参加者は、日本語や日常生活についての素朴な悩み・疑問などを気軽に尋ねることの出来る場としても利用していた。また、カメラマンや新聞記者など、普段は接点のない人と出会う機会を提供することで若者が多様な出会いをし、将来について考えるきっかけづくりなども行った。

その他、健康や料理、音楽など若者のニーズに合わせた講座を開催した。

③「まちを知る！しごとを知る！しゃかいをしる！日本語講座」では、参加者が講座を通じて仕事や地域とつながりを持ちながら、働くことの意味や社会のしくみを知ることを目的とした講座を開催した。

「農家の仕事をしよう」では、東北地方で農業を営む方々に講師に来ていただき、都市部ではイメージしにくい農家の仕事について、一年を通じた仕事の内容や仕事をするうえでの苦勞などを語っていただいた。

「おしごとカフェ」では、「仕事」をキーワードに、若者が将来について抱える不安やキャリア設計について、就労支援コーディネーターが話を講師に迎えた講座を開催した。

①「～生活まるごと～よみかき日本語講座」での取組の様子。紙ツールを使って概念を学習しています。



②「～からだところの～フリーダム日本語講座」

(左)「多文化ダンス教室」のダンス前のストレッチ風景。



(中)「サムルノリを体感しよう！」講座の様子。



(右)「ざっくばらんに語ろう会」で意見を出し合う様子。



③「まちを知る！しごとを知る！しゃかいをしる！日本語講座」

「農家の仕事を知ろう！」の様子。皆熱心に話を聞いています。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

講座終了後の感想のヒアリングと、講座のなかでの観察を通じて成果を検討した。

①参加者のニーズに沿った生活に必要な日本語の獲得については、参加者した人全員が満足する結果となった。また、ひらがな・カタカナの習得から始めた若者が、自分の気持ちを作文などで表現できるようになるなど、日本語の習得について顕著な成長をみせた。その他の参加者についても、自分の苦手とする漢字の読み書きや敬語表現などを習得し、講座を卒業していったものもいた。

②・他都市で活躍する同年代の当事者グループの方との交流会「ピアサポーター・ボランティアの役割って…？ざっくばらんに語ろう会」では、普段はなかなか語ることの出来なかった自分の想いを語る若者や、意識したことなかったルーツをもつ外国人について考えるきっかけを得た若者がいた。ピア・ロールモデルとの出会いを通じ、自分の想いを参加者全体の前で共有することが出来るようになった。

・料理教室の参加者は、企画、調理、試食のプロセスを通じて仲間とつながり、共同作業をすることに意味を感じている若者の様子がみられた。参加者の中には、自国の料理をはじめてつくる参加者もあり、自らのルーツを再認識し、自信を持てるようになった。

・定期的に行っている活動(「多文化ダンス教室」「たまりば」)に関しては、参加者が定着してきた様子や講座参加者同士が「仲間」意識を育んでいる様子がみられた。

・音楽やダンスなどを通じた講座の中で、表現の場や出会いの場、活動の場を提供することが出来た。また、これらの講座は若者の「やりたい」という声を反映して作られたものであり、積極的に参加する若者の様子が見られた。

・「ダンス講座」と「たまりば」の講座を同時刻に開催することで、ダンスに参加した若者が「たまりば」の存在を知り、相互の講座に「垣根」がなくゆるやかなつながりを持ち、関係を築いていく様子が見られた。また「たまりば」では、ダンス教室参加者の兄弟姉妹、若者と年の近い世代の保護者、学生以外の社会人ボランティアなど、他講座とは異なる多様な人々が空間を共有することで、より密度の濃い「アットホームな」雰囲気の中で活動が出来た。

③・講座終了後のヒアリングでは、「楽しかった。またこのような機会があれば参加したい」という声が聴かれた。普段、自分の将来について大人がじっくり話に耳を傾ける機会がないため、参加者の満足につながったと思われる。

・少人数での開催にしたため、日本語が苦手な参加者もじっくり話を聞いてもらえる環境が話やすさにつながったようである。

(10) 改善点について

①指導案を作るなどして丁寧に行われた講座であったが、「学校的」なスタイルになりがちであった。若者が興味関心をもって楽しみながら取り組むには、講座の形式(教室型⇒交流型など)やテーマ(趣味、仕事、美容など)に工夫を行う必要があるとの反省が残った。

2013年度の参加者には高いニーズがあったが、2014年度には継続的な参加者が見込まれないこともあり、テーマ設定や形式の再検討などを行う予定である。

②若者のニーズをより拾い上げやすい環境づくりと、若者が主体となって活動を展開していけるような体制づくりに課題が残っている。また、活動を支えるボランティアの募集・養成も今後行っていく予定である。

③講師に、参加者により近いピアやロールモデルとなる外国人を迎えることにより、一層参加者のニーズに合った講座を行うことが出来ると考えられる。

・今年度は、ニーズ調査も兼ねた講座開催だったので、不定期開催となったが、次年度以降は日程を固定し、参加する若者が多様な仕事やロールモデルに出会える機会を整えていく。

○取組2:ユース☆対話・メディア日本語講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国人の若者たちが、日本語学習を基礎にした「対話」活動やメディア制作を通して他者とコミュニケーションし、自分自身を「表現」する方法を学ぶ。同時に、「発信」することを視野に入れ、関係諸機関との連携を推進する。

(2) 取組内容

内容:

外国人の若者たちは周囲に同じような立場の人たち(ピア)、目標となる生き方や生活をしている人たち(ロールモデル)との出会いが少なく、また住民としての意識を育む社会機関(地域)から距離があるため、地域における多様かつ広範な人間関係の構築が難しい。また自分を表現する場を自ら設定する機会も少ない。そこで、本取組では、若者たちがピアである受講生同士での「対話」活動を通して、人間関係の構築や拡大を目指し、メディア制作を通して自己表現ができるようにする。また、若者の声が引き出されることにより、これまで潜在的であった若者の課題をさまざまな関係機関に認識されていく素地をつくる。そのためにも本取組は大学機関における資源とネットワークを豊富に利用し、地域住民や行政などへの「発信」を視野に入れつつ実施していくことにする。

なお、講座の実施にあたっては、声のメディアを扱う「ラジオ講座」とそのほか広く対話や表現、メディアに関することを扱う「対話・メディア講座」に分け、実施した。両者は、同じ対話やメディアをテーマとしたものであるが、性質的に異なるものであり、また参加する若者にも自分に合う講座を選んでほしいという思いから別講座として実施した。

(1)「ユース・ラジオ講座」(5回)

ラジオという「声のメディア」について制作の基礎や番組構成を知り、実際に自分のオリジナル番組を計画することで、新しい発信の仕方、表現の仕方を知る。また、自分自身で番組制作、発信など一連のプロセスを経ることで自信をもって自分の意見や想いを表現することが出来る。

(2)「ユース対話・メディア講座」

「対話講座」:(11回)

①「わたしを語ろう」:ライフプランング講座で深めた自分のライフストーリーとライフプランングをもとに、自分自身の状況と心情、また希望や意志について言葉にする練習をする。

②「あなたに語ろう」:複数の人の前で自分をこと伝え、相手の話を聴き、質問をする練習や質問に答える練習をする。

対話を促すアイテム:情報収集としての家族への聞き取り、地域フィールドワーク、パソコンによる情報収集、図書館などの機関の利用

「表現講座」(8回)

③「コミュニケーションをデザインしよう」:自分のライフストーリーとライフプランングを多くの人に伝えるための日本語学習やコミュニケーション技法を知る(パワーポイントの使い方、レジュメ作成、パソコン操作、人前での話し方や声の出し方などプレゼンテーションにかかわる方法)

④「ことばとからだで伝えよう」

受講生の得意とする表現方法や身体をつかった表現技法を学び、特定のテーマをもとにグループワークをもとに表現を行う。(写真、歌、演劇、スキットなど)

「製作講座」(12回)

⑤「メディア表現で伝えよう」

ライフプランング講座での学習と、これまでの対話・表現方法を参考に、メディア分析・メディア製作を行う。受講生は伝えたいことをメディア通じて表現する。製作にかかわるプロセスでは、構成や撮影・編集作業などの技法だけでなく、インタビューにかかわるアポイントメントや関係諸機関との調整などの実践的体験を積む。

(3) 対象者

外国人にルーツをもつ若者(日本語学習を必要とする外国人以外に、日常会話はできても自分自身を表現するのに困難を抱えている外国人にルーツをもつ若者も含む)。

(4) 参加者の総数 16 人

(出身・国籍別内訳

韓国・朝鮮(8人)、アメリカ(1人)、フィリピン(4人)、スリランカ(1人)、日本(2人)

(5) 開催時間数(回数) 70 時間 (全 26 回)

(6) 取組の具体的内容 ①ユース・ラジオ講座

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	内容	講師等氏名	補助者氏名	
1	平成25年7月14日 15:00~17:00	2 時間	とよなか国際交流センター	5人	韓国・朝鮮(3人)、 アメリカ(1人)、フィリピン(1人)、	自己紹介、ラジオ番組のアイデアを練ろう!	初めて出会う人たちに自分を紹介をする。ラジオ番組の内容や制作について、まず自分でイメージやアイデアを考え、他の参加者に伝える。	ネルソン百合子(コーディネーター)	-
2	平成25年7月20日 15:00~17:30	2.5 時間	とよなか国際交流センター	5人	韓国・朝鮮(3人)、 アメリカ(1人)、フィリピン(1人)、	他己紹介をしよう、ラジオ制作の基礎	二人一組になり、相手にインタビューをした後、相手の紹介を他の参加者につたえる。ラジオ制作の基礎である「起承転結」のしくみを知る。	横山公美(講師)	川島有里子
3	平成25年8月24日13:00~15:00	2 時間	とよなか国際交流センター	5人	韓国・朝鮮(3人)、 アメリカ(1人)、フィリピン(1人)、	原稿を読んでみよう	実際に原稿を読み、録音した声を聴いてみる。「笑声(えごえ)」について知り、意識をしながら原稿を読んでみる。	ネルソン百合子(コーディネーター)	川島有里子
4	平成25年9月1日 13:00~16:00	3 時間	とよなか国際交流センター	4人	韓国・朝鮮(2人)、 アメリカ(1人)、フィリピン(1人)、	ラジオ番組をつくろう①	キューシートの書き方を知り、実際に自分の理想の番組のキューシートを書く。キューシート通りに番組をつくり、録音する。	ネルソン百合子(講師)	-
5	平成25年9月15日 10:00~13:00	3 時間	とよなか国際交流センター	4人	韓国・朝鮮(3人)、 アメリカ(1人)、	ラジオ番組をつくろう②	キューシート、番組づくりの続き。ラジオとは何か。ラジオ番組で何を伝えたいのかを考え、お互いに伝え合う。	ネルソン百合子(コーディネーター)	-

②ユース対話・メディア講座

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年10月6日 14:00~16:00	2 時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	わたしを語ろう①: 自分自身の現状、心のうちについて言葉にする練習	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
2	平成25年10月13日13:00~15:00	2 時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	わたしを語ろう②: 自分自身の現状、最近あった何気ない出来事などを言葉にする	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
3	平成25年10月20日13:00~15:00	2 時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	わたしを語ろう③: 自分自身の現状、将来への希望ややってみたいことなどを参加者に共有する	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
4	平成25年10月26日10:00~12:00	2 時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	あなたに語ろう①: オープンな場で複数の人に自分の想いや考えを伝え、場集った人の考えを聴き、共に考える機会とする(とよなか国際交流センター催し「国際交流と人権を考えようPart2」と同時開催)	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
5	平成25年10月26日13:00~17:00	4 時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	あなたに語ろう②: オープンな場で複数の人に自分の想いや考えを伝え、場集った人の考えを聴き、共に考える機会とする(とよなか国際交流センター催し「国際交流と人権を考えようPart3」と同時開催)	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
6	平成25年11月10日10:00~12:00	2 時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	あなたに語ろう③: ①、②で複数の人と語られたことを振り返り、当日の参加者同士で自分のことを語り、聴き合う	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
7	平成25年11月10日13:00~15:00	2 時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	コミュニケーションをデザインしよう①: 対話講座で学んだ内容をもとに、自分自身のライフストーリーや今後の希望、やりたいことなどを多くの人に伝えるためのコミュニケーション方法を知る(PowerPointの使い方、レジュメの作成)	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基

8	平成25年11月10日15:00~17:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	コミュニケーションをデザインしよう②: 対話講座で学んだ内容をもとに、自分自身のライフストーリーや今後の希望、やりたいことなどを多くの人に伝えるためのコミュニケーション方法を知る(インターネットメディアとSNS)	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
9	平成25年11月17日10:00~12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	ことばとからだで伝えよう①: 対話講座で語られた内容を、自分に合った方法で表現する(映像での表現について)	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
10	平成25年11月17日13:00~15:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	ことばとからだで伝えよう②: 対話講座で語られた内容を、自分に合った方法で表現する(対面形式の表現について)	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
11	平成25年11月17日15:00~17:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	ことばとからだで伝えよう③: 対話講座で語られた内容を、自分に合った方法で表現する(メディアの映像表現に学ぶ)	田島知之(講師)、	黒島トーマス友基
12	平成25年11月23日12:00~14:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	ことばとからだで伝えよう④: 対話講座で語られた内容を、自分に合った方法で表現する(参加者同士での発表)	今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
13	平成25年12月15日10:00~12:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	「ことば」について語ろう①: 「対話講座」「表現講座」で行ってきたことを振り返りながら、「ことば」のもつ意味や表現のバリエーションについて考える。	今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
14	平成25年12月15日13:00~15:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	表現講座	「ことば」について語ろう②: 「対話講座」「表現講座」で行ってきたことを振り返りながら、「ことば」のもつ意味や表現のバリエーションについて考える。	今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
15	平成25年12月15日15:00~17:30	2.5	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	「架橋のことば」①: 識字教室や居場所づくりを長年行っている講師にお話を聞きながら、人と人をつなぐ「ことば」について考える	阿部寛	-
16	平成26年1月12日9:00~12:00	3	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	ヒューマンライブラリーを知ろう①: 対話・表現の実践として「ヒューマンライブラリー」の手法を学ぶ	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
17	平成26年1月12日13:00~16:00	3	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	ヒューマンライブラリーを知ろう②: 対話・表現の実践として「ヒューマンライブラリー」の手法を学ぶ	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
18	平成26年1月12日16:00~19:00	3	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	ヒューマンライブラリーを知ろう③: 対話・表現の実践として「ヒューマンライブラリー」の手法を学ぶ	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
19	平成26年1月13日10:30~12:30	2	時間	豊中市青年の家いぶき	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	ヒューマンライブラリーを実践しよう①: 豊中市成人式「20フェスタ」において、成人を迎えた人々に向けてヒューマンライブラリーを実践する	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
20	平成26年1月13日13:00~15:00	2	時間	豊中市青年の家いぶき	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	ヒューマンライブラリーを実践しよう②: 豊中市成人式「21フェスタ」において、成人を迎えた人々に向けてヒューマンライブラリーを実践する	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
21	平成26年1月13日15:00~18:00	3	時間	豊中市青年の家いぶき	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	対話講座	ヒューマンライブラリーを実践しよう③: ヒューマンライブラリーの実践を経て、自らの語りがどのように変化し、相手にどのように伝わったかを考察する	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
22	平成26年1月25日16:00~18:30	2.5	時間	とよなか国際交流センター	5人	韓国・朝鮮(2人)、スリランカ(1人)、日本(2人)	対話講座	「架橋のことば」②: 識字教室や居場所づくりを長年行っている講師にお話を聞きながら、人と人をつなぐ「ことば」について考える	阿部寛	-
23	平成26年1月26日12:30~15:30	3	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう①: 「表現講座」「対話講座」で学んだことを中心に、自分達がメディアを通じて伝えたいことは何かを話し合う	今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
24	平成26年1月26日16:00~18:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう②: ①で学んだことをもとに、参加者全員が関ることの出来るような、メディア製作に関するアイデアを語り合う	今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
25	平成26年1月26日18:30~20:30	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう③: ②で話し合われたことをもとに、製作に関するプロセスをシミュレーションする。撮りたい作品に関わる人々へのアポイントメント、調整などをおこなう。	今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
26	平成26年2月2日13:00~15:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう④: 映像メディアの基礎(メディアを製作するにあたっての技法や撮り方を学ぶ)	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
27	平成26年2月2日15:00~17:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう⑤: 映像メディアの基礎(発信者への伝わり方を知る、構成を学ぶ)	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
28	平成26年2月2日18:00~20:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう⑥: 自分達の撮りたい作品の構想から、撮影についてのスケジュールリング、調整などを行う。	田島知之(講師)、今井貴代子(講師)	黒島トーマス友基
29	平成26年2月6日16:00~18:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディアリテラシーについて知ろう: メディアを通じて語られる「現実」について、批判的な視点を持つことを知る。	田島知之、登丸あすか	-
30	平成26年3月16日14:00~16:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう⑦: 各自で撮りためた映像をもとに、講座全体で学んだ内容をふまえながら作品構成を考える	田島知之(講師)	黒島トーマス友基
31	平成26年3月16日16:00~18:00	2	時間	とよなか国際交流センター	6人	フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、韓国(3人)、スリランカ(1人)、	製作講座	メディア表現で伝えよう⑧: 各自で撮りためた映像をもとに、講座全体で学んだ内容をふまえながら編集作業について学ぶ	田島知之(講師)	黒島トーマス友基

(7) 参加者の募集方法

豊中市広報誌『広報とよなか』、活動チラシ、協会ホームページ、Facebook

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

①ユース・ラジオ講座

「声」というツールを活かしたラジオ番組の制作についての講義や、実際のトレーニングや発声練習などを通じて、番組の企画・制作のしくみを知り、実際に一つの作品を作り上げた。参加者一人一人の思いを大切にしようということから、全員でのグループ講義部分と、個別の対応を分けて、作品は参加者が独自に番組を作成する形になった。

②対話・メディア講座

「対話」のもつ様々な形式を知り、多様なコミュニケーションのあり方について、実践を踏まえたかたちで学んだ。参加者が定着し、講師とも一定の関係を築くことが出来たことで、仲間同士で講座をつくりあげていく雰囲気のある活動であった。特に、講座ごとの取組みを通して、自分自身についての語りや多様な表現方法を身につけたことで、作品制作の際に被写体として、また製作者として、自らの多様なあり方をメディアにて表現することが出来た。また、国際交流センターを拠点としながら、地域の環境交流センターや成人式、地域の学校にて、様々な対話やメディア表現を試みた。特に、豊中市成人式後に行われた「20フェスタ」では、新成人の若者に向けて「リビング・ライブラリー」(生きた人が「本」となって、自分自身のストーリーを語る。)の企画・運営を行った。見ず知らずの人との対話という新しい経験を通じて、自分を語ることの難しさや意義を実感した一日となった。

①「ユース・ラジオ講座」

(左)皆でミーティングをしています。
色々な意見がでました。
(右)ラジオレコーディングの様子。



②「対話・メディア講座」

講師の話をお聞きするときも、オープンな雰囲気でお伺いしました。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

①ユース・ラジオ講座

ラジオ制作の講義を通じて、自分自身の想いを感情的ではなく、体系的に整理して語ることで自分自身の想いを表現し、伝えることが自己を見つめ直す良い機会となった。また、その内容を聴いた人々が心を動かしたことで、参加者本人が自信をつけることができた。

②対話・メディア講座

対話講座、表現講座にて幾度も対話を重ねることによって、始めは自分自身を語ることの少なかった参加者が、徐々に表現のバリエーションを身につけ、語りを増やしていくことが出来た。国際交流センター以外の場所での活動を行ったことで、地域とのつながりをつくることが出来た。

(10) 改善点について

①、②を通じて、講座の開催が不定期になってしまい、新規の参加者が参加しにくくなってしまったことが反省点としてある。今後は、定期開催の検討や、講座の広報・周知をより広く行っていく。

また、自分たちの制作したラジオや映像作品の発信にも力をいれ、多くの人々に見てもらう機会を積極的につくっていく。2013年度に少しずつ関係をきずいた地域社会とのつながりをより増やしていく。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

定住外国人・国際結婚の増加によって、外国にルーツをもつ子ども・若者の数も確実に増加している。これに伴い外国にルーツをもつ子ども・若者への日本語教育はこれまで以上にニーズを増している。とよなか国際交流協会(以下、協会)では近年、日本語活動や子どもを対象とする事業を通じて、地域のなかでこうした子ども・若者が増えていることを実感しており、既存の事業における子どもや若者への支援の配慮や、市民グループ・市教育委員会との協働による学習のための日本語指導の実践などを行ってきた。しかし、子どもの成長や親の呼び寄せで学齢期を超えて来日する10代後半以上の若者の増加によって、既存事業の枠内での対応も難しくなっているのが現状である。

一方社会の現状に目を向けると、若者の高い失業率・非正規雇用率やひきこもり・ニートの増加など若者の置かれる環境は日本全体でも厳しい状況にある。この現状は政府によっても危機感をもって受け止められ、子ども・若者育成支援推進法などを受けた大綱も示されているが、この中で外国人の若者の困難は就労問題として取り上げられているのみで、彼らの就労の前段階に置かれるはずの日本語や社会参画の困難性は語られていない。

本事業では、「子ども」から「大人」への移行期にあつて、まさに地域社会を支える成員となる過程にある外国にルーツを持つ若者に対し、日本語教育事業を中心に若者の社会参画を促すことを目的とする。また、若者への支援のしくみづくりを通じて関係諸機関との連携を行い、地域における支援体制の構築を目指す。

(2) 事業目的の達成状況

運営委員による取組の評価、講座参加者へのヒアリングを中心とした聞き取り、コーディネーターとの振り返りミーティングなどから達成状況を検証した。

取組み初年度となる2013年度は、地域における外国人の若者の実態把握と地域との関係づくりの二点に重点をおき、取組みを進めてきた。

若者の実態については、地域における外国人の若者について詳細な実態を把握することが出来たとはいえない。しかし、高等学校を始めとする地域の学校や若者支援を行うNPOへの聞き取りを通じて、外国にルーツをもつ若者たちは、社会生活において(1)十分な日本語サポートを受けられない(受けにくい)、(2)日本における将来設計を立てにくい、(3)外国にルーツをもっているということが見えにくい(自らのルーツについて語らない・語れない・語る機会がない等)、という課題を持っている可能性が明らかとなってきた。(1)の課題については、おもに10代後半に来日した若者について当てはまる事柄である。外国にルーツをもつ若者が日本の義務教育過程年齢を超えて来日した場合、日本語学習は本人や家族の判断にゆだねられる。高等学校に進学した場合、学校の判断で日本語支援の枠が確保されることもあるが(聞き取りをさせて頂いた地域の高等学校ではこうした措置がとられていた)、決められた時間数のなかで学校側が対応できることにも限界がある。また、若者自身への聞き取りから、地域の日本語教室での学習を続けようとしても仕事を始めると通うことが困難になり、その後日本語を学ぶ機会がないという声も聴かれた。地域機関との連携を行いながら、若者のニーズにあった日本語支援をどのように行うのが今後の課題である。

(2)「日本における将来設計を立てにくい」については、渡日の若者だけでなく日本で生まれ育った若者にも当てはまる場合がある。進学や進路について十分な情報を若者や保護者が得ていない場合、学校や就職先に関する選択肢があまりないまま、将来の選択を迫られてしまう。ロールモデル(目標となる人)との出会いや、母語でライフプランを考えることが出来る講座を設けるなど、若者が今後の見通しをもって社会生活を送ることの出来るような機会の提供を今後も検討していく。

また、学校や地域の中では「外国にルーツを持つ」ということが意識されていないケースも多くあった(3)。「進学」や「就労」という明確な目標のある学校や支援機関においては、日本語支援などの目に見える点ではサポートが行いやすいが、それ以外の側面(例えば、アイデンティティや家族間のコミュニケーション、文化・習慣の違いなど)についてのサポートは行いにくいと考えられる。ピア(仲間)やロールモデルとの出会い・表現活動などを通じて、自信を得たり安心感を得たりするきっかけをより多くの若者に提供していくことは、今後もよりいっそう、協会のような中間支援組織の役割に求められていくのではないだろうか。

地域との関係づくりについては、聞き取りや講座講師の依頼、地域イベントへの参加などを通じて構築してきた。「成人式」や「演芸会」など地域で行われている取組に若者と共に参加することで、若者自身の学びにもつながると同時に、地域の方々に若者の存在を知ってもらうことで直接顔の見える関係を築くことが出来た。また、地域の学校(特に、高等学校)や若者就労支援機関に本事業の主旨・目的を理解していただき、必要なときに必要な連携が取れる関係が出来つつある。外国にルーツをもつ人に限らず、「若者」をどのように社会とつなげていくかは地域として共通の課題であるため、今後も地道な連携を続けていきたい。

(3) 地域における事業の効果、成果

豊中市内において、特に外国にルーツをもつ若者を対象とする複数の講座を開催したことは、大きく二つの点で評価出来ると思われる。

ひとつめは、外国人少数点在地域である豊中において、若者対象の講座を設けたことで、これまで「見えない」存在であった若者たちが積極的に集うことのできる「場」の設定が出来た点である。地域において若者が無条件に集うことのできる場は、そう多くない。また、大人向けの日本語活動やルーツをもつ子どもを対象とした居場所づくりなどを行っている協会においても、外国にルーツをもつ若者たちに対する取組みは、充実させていく必要のある課題であった。本事業の取組を通して、少しずつではあるが、地域在住の若者が集まり、主体的に関ることの出来る活動(講座)に参加し始めたことは若者の社会参画という側面からも評価できるのではないかと。また、このような場を通じてロールモデルとなる先輩や同じ境遇にいる仲間と出会い、自分自身の将来や生き方などについて考えるきっかけを得た若者も少なくなかった。

ふたつめは、本事業を通じて外国にルーツをもつ若者の抱える課題について、行政をはじめとする地域公共機関や若者支援機関との一定の共有が出来たことである。先に述べたように、外国にルーツをもつ若者の抱える課題解決には、専門機関との連携が欠かせないが、「見えにくい」課題も少なくない。本事業運営委員会での情報交換や各機関への聞き取り調査、講座開催の案内などの周知を通じて、若者の課題を地域にシェアし「見える」状態にすることで各機関とも問題意識を共有することができた。

(4) 改善点, 今後の課題について

i 現状

若者の現状把握については、前述のとおり少しずつ行っている状況である。機関連携についても、地域の学校や公共機関、市民団体などに本事業の存在や本事業に関する若者について共通の認識が出来つつある。

また、取組を支えるボランティアスタッフも各活動に数人程度集まりつつある状況である。

ii 今後の課題

より多くの若者への事業の周知が課題となっている。また、機関連携については、より一層の事業の理解と必要なときに連携し合える体制づくりの構築に引き続き努力する。具体的には、地域イベントなどでの参加協力や、就労支援などのニーズがある若者を専門機関へつないでいくなどの対応を行う。

iii 今後の活動予定

地域の祭りへの参加を始めとする地域イベントへの参加、定期講座の開催、広報活動(SNS、リーフレット)

(5) その他参考資料

- ・事業報告兼告知用リーフレット
- ・周知用チラシ